

2016年
4月10日
(日曜)

14:00 ◆開演
13:30 ◆開場

甲南大学 OB 交響楽団

Konan Univ.OB
Symphony Orchestra

伊丹市立文化会館
いたみホール

◆阪急伊丹駅より北へ徒歩3分
◆JR伊丹駅より西へ徒歩8分

◆入場無料 (全自由席)
未就学児のご入場はご遠慮ください

第6回演奏会

～オリジナルサウンドへの挑戦～
有名シンフォニー2曲を、それぞれ独自の楽器の配置で演奏

弦楽器は1st.2nd.ヴァイオリンを両翼に、
コントラバスはウィーンフィル方式で正面、横一列で配置。
全員一丸となってOB響ならではのサウンドを目指しての新しい試みです。
是非ご来場のうえ私たちのチャレンジをお聞きください。

<曲目と楽器配置>

F.シューベルト ◆交響曲第7番 口短調 D759 「未完成」

指揮：佐野 敬一

「嵐」「神の啓示」をトランペット、ティンパニが下手側で演じ、対抗する形で「抗えない運命」をトロンボーンをはじめとする低音楽器がで上手側で演じます。「求めても得られない愛への憧れ」そして「苦悩と愛に引き裂かれる」ような強烈な対比を表現します。

P.チャイコフスキー ◆交響曲第5番 ホ短調 作品64

指揮：松下 正彦

ホルンを下手側、トランペット・トロンボーンを上手側に、中央には倍管編成の木管群を金管群と重ならないように配置。各セクションをより一層際立たせ、様々な色で劇的にチャイコフスキーの歌を謳い上げます。

甲南大学OB交響楽団 3つの精神

- 「建学の精神」 ◆本楽団は建学の精神「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を伸張させる」を鑑みてアマチュア楽団の規範となるべく運営されています。
- 「生涯現役の精神」 ◆本楽団は甲南大学交響楽団出身の紳士淑女が、多様な人生経験と幅広い音楽経験を集結して、共に生涯管弦楽演奏を楽しむ場でありつづけます。
- 「学園歌の精神」 ◆本楽団は年齢、経験、技術、力量によらず参加者はすべてひとつの輪であるという「学園歌の精神」で、専任指揮者、首席奏者を置かず、OB響オリジナルサウンドをめざします。